

うさぎが着ている三角形のワンピースは、次々と模様が変わるふしぎなお洋服。西巻茅子さんの代表作「わたしのワンピース」は、着せかえ人形あそびを彷彿とさせるストーリーと、「ラララン ロロロン」と心が跳ねるようなリズムカルなフレーズが楽しい不朽の名作です。

本作をはじめ、デビュー作『ボタンのくに』（なかむらしげお・文／こぐま社）や、洋画家であった父をモチーフにした『えのすきなねこさん』（童心社）、神沢利子さんとの共作絵本『はけたよ はけたよ』（偕成社）など、西巻さんによって創り出された絵本は、子どもの無垢な感受性や好奇心、成長の歩みに寄り添う深い愛情にみちています。

本展では、豊かな色彩とリトグラフ・水彩・刺しゅうなどの多彩な手法で描かれた作品の数々やラフスケッチを展示し、あたたかくのびやかな絵本の世界へいざないます。心の原点に触れるような作家のイマジネーションをぜひお楽しみください。



「ちいさなきいろいかさ」(金の星社)1971年



「えのすきなねこさん」(童心社)1986年



「ボタンのくに」(こぐま社)1967年

イベント <会場はすべて姫路文学館 講堂(北館3階)>

①西巻茅子記念講演会「絵本とわたし」

日時:7月4日(土)11時~12時30分
定員:150人(当日先着順)
※観覧券(使用済み半券・デジタルチケット可)が必要(18歳未満を除く)。

②西巻茅子サイン会 要事前申込

日時:7月4日(土)①13時30分~14時30分
②14時45分~15時45分
定員:100人(各回50人)
※当館ショップ(北館1F)にて絵本の購入が必要(1人1冊)。観覧券(使用済み半券・デジタルチケット可)が必要(18歳未満を除く)。
申込方法:往復はがき、もしくは姫路文学館HPの申込フォームから、氏名、郵便番号、住所、電話番号、イベント名、希望の時間帯(①または②)を明記して姫路文学館へ。1申込につき1人。
申込締切:6月16日(火)必着

③えほんのじかん

当館ボランティアが西巻茅子さんの絵本を朗読します。
日時:7月18日(土)、8月8日(土)
各日、13時30分~14時
定員:各回100人(当日先着順)
参加料:無料

④絵本朗読劇「えのすきなねこさん」

兵庫県立姫路工業高等学校演劇部が名作絵本の世界を表現します。
日時:8月22日(土)(各20分・内容は同じ)
①11時~ ②13時~
③14時~ ④15時~
定員:各回100人(当日先着順)
参加料:無料

プロフィール

西巻茅子 にしまき・かやこ

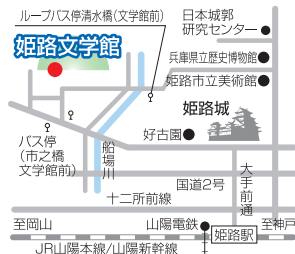
1939年、東京に生まれる。東京芸術大学工芸科卒業。学生時代からリトグラフ、エッチングを手がけ、日本版画家協会展新人賞、同奨励賞受賞。絵本の読者である幼い子どもたちの絵を見る目、絵を描く力の確かさに敬意を払い、尊敬を込めて絵本を描き続けている。代表作『わたしのワンピース』は、親子二代にわたるファンも多く、男女を問わず子どもたちに愛されている。『ちいさなきいろいかさ』(もりひさし・文/金の星社)で第18回産経児童出版文化賞受賞。『えのすきなねこさん』(童心社)で、第18回講談社出版文化賞絵本賞受賞。その他作品多数。



スタンプラリー「ボタンかいぎ」

館内4ヶ所にボタンスタンプを設置。スタンプをあつめて「ボタンかいぎ」をはじめましょう!

姫路文学館
HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE
〒670-0021 姫路市山野井町84番地
TEL.079-293-8228
http://www.himejibungakukan.jp/



姫路文学館へのアクセス

- JR・山陽電鉄姫路駅より神姫バス9-10-17-18番のりば(一部停車しない系統があります。ご確認ください)で乗車約6分、「市之橋文学館前」下車、北へ徒歩約4分。6番のりば城周辺観光ループ(ス乗車約10分、「清水橋(文学館前)」下車、西へ徒歩約3分)
- 山陽自動車道姫路東IC.あるいは姫路西IC.下車約20分 ● 姫路バイパス中地ランプ下車約15分

QRコードを読み込んで簡単アクセス
姫路文学館公式アカウントで情報を発信中!

ご来館の際の注意 ● 展示会場の混雑を緩和するため、入場規制を行う場合があります。● 駐車場の台数には限りがあります。公共交通機関のご利用にご協力ください。● 最新情報は当館ホームページ等でご確認の上、ご来館ください。